

【国際協力×水産】 キャリア紹介シート

JICA経済開発部

※個人情報が含まれているため、許可なく2次利用することはお控えください。

第1回JICA水産分野における国際協力セミナー（24年1月開催）～パネリスト紹介～



アイ・シー・ネット(株)

小林 花 氏

経歴

学習院大学卒業後、民間企業に就職。JICA海外協力隊（JOCV）でネパール（村落開発普及員）に派遣された後、英国サセックス大学でジェンダーと開発修士を取得。その後、JICAジュニア専門員、JPO（FAO）を経て、アイ・シー・ネット株式会社に入社。アフガニスタン、ネパール、バングラデシュ等、南アジアでコミュニティ開発、ジェンダー案件に従事中。

キーワード

ジェンダー、コミュニティ開発、開発コンサルタント、JOCV、JPO、子育て



アイ・シー・ネット(株)

今村 沙織 氏

経歴

学習院女子大学卒業後、私立学校と民間企業に就職。3年間勤務した後、英国イーストアングリア大学で国際開発学修士を取得。その後、JICAや国連のインターンで活動し、現在は、アイ・シー・ネット(株)の開発コンサルタントとして、水産分野の案件で、海洋教育、加工、共同資源管理、サンゴの再生などの多数の活動に取り組む。

キーワード

開発コンサルタント、留学、海洋教育、水産共同資源管理など



インテムコンサルティング(株)

大内 聖一 氏

経歴

日本大学卒業後、日本大学大学院（修士課程）に進学。その後、JICA海外協力隊（ブルキナファソ/養殖隊員）として活動。現在はインテムコンサルティング(株)の開発コンサルタントとして主に仏語圏アフリカ（コートジボワール、カメルーン、ベナン等）で養殖関連プロジェクトに取り組む。

キーワード

養殖、開発コンサルタント、JOCV、修士課程、仏語圏アフリカ、一児の父



（一社）マリノフォーラム21/
東京大学博士課程在籍

松原 花 氏

経歴

北海道大学水産学部（学士）東京大学大学院（修士）卒業後、JICA海外協力隊 ソロモン諸島（水産開発）で活動。ジュニア専門員を経験し、現在は東京大学大学院博士課程に在籍しながら（一社）マリノフォーラム21の専門研究員として水産分野の開発途上国人材育成に関する国内の業務を中心に担当

キーワード

JOCV、ジュニア専門員、博士課程、地域主体の水産資源管理、ジェンダー

大内 聖一（おおうち せいいち）

インテムコンサルティング株式会社 自然環境部次長

日本大学生物資源科学部海洋資源学科（2004年3月卒）

日本大学大学院生物資源科学研究科生物資源生産科学専攻（2006年3月修了）

幼少期～青年期

父の転勤関係で海の近くの街を転々とする（神奈川、富山、広島、香川、沖縄（石垣）、東京）。

大学・大学院(1998-2006年)

講義の中でインドネシアでの国際協力の事例を知る、バックパッカー（東南アジア）、インターンや実習（栽培漁業センター、民間養殖場）などを経験。

青年海外協力隊（2006-2008年）

ブルキナファソ（養殖隊員）に赴任。現地の社会・文化など様々なことを教えてもらう。フランス語を学ぶ。

インテムコンサルティング(株)入社 （2008年）

JOCVの活動でアドバイスを受けていたインテムコンサルティング(株)の面接を受ける（**開発コンサルタントの始まり**）。

長期専門家として派遣（2009年 ～3年間）

ブルキナファソに専門家として赴任。技術協力プロジェクトの運営や技術指導の方法を学ぶ（**下積み時代**）。

個人案件受注（2013年）

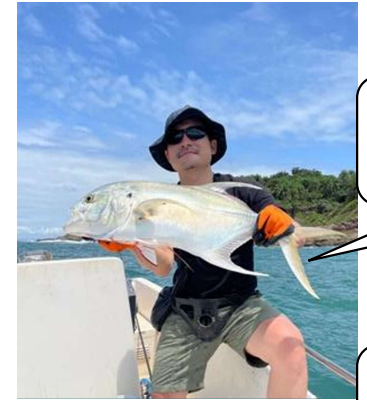
JICAカンボジア魚類防疫専門家個人案件受注（**独り立ち？**）。

技術協力プロジェクトに参加 （2015年～）

コートジボワール、ベナン、ギニア、カメルーン、カンボジアなどで養殖関連技術専門家として経験を積む（**自己研磨**）。

技術協力プロジェクト業務主任者 （2022年～）

コートジボワール養殖技術協力プロジェクトの業務主任者を担当（**プロマネデビュー**）。



な

大学



コートジボワール国養殖魚バリューチェーン開発を通じた内水面養殖再興計画 (2022-2027)

【業務主任者/養殖技術】（年間2回、2ヶ月/回渡航）

- プロジェクト（生産分野）運営管理（他チームとの調整、活動・投入計画、予算管理、報告書作成等）
- 養殖技術研修の計画・開催
- 研修後のオンサイト指導
- 現地に適した新技術の実証試験・普及
- 稚魚生産サイトの選定・指導
- 飼料会社との意見交換・連携
- 新規投資家への働きかけ支援



Oreochromis niloticus



プロフィール

大学4年生の頃の将来の夢は、「国際協力の分野で、専門性をつけて、開発コンサルタントとして、途上国に貢献すること、そして、そこで得られた経験を日本の若者に、学びの共有をすること」でした。

- 03 - 05年 学習院女子大学 国際文化交流学部 国際コミュニケーション学科
- 05 - 07年 参加型国際開発のゼミナールに所属
- 07 - 10年 ベンチャー人材総合サービス会社 営業職
- 10 - 13年 私立・中学高等学校 非常勤英語講師
- 13 - 14年 英国イーストアングリア大学 国際協力学部 教育開発学科
- 14 - 15年 JICAザンビア教育省 海外インターンシップ
- 16 - 17年 UNESCO海外インターンシップ (イタリア)
- 17 - 18年 フリーランス(海外新卒研修など)
- 18 - 現在 開発コンサルタント会社 (中国/エチオピア/ジブチ/セネガル/バヌアツ共和国/セントルシア/セントキッツ/ドミニカでの案件参加)



開発コンサルタントの仕事

私が従事しているJICAプロジェクト<<実施・管理>>

- ・カリブ地域 漁民と行政の共同による沿岸水産資源の保全管理強化プロジェクト
- ・セネガル国 広域水産資源共同管理能力強化プロジェクト
- ・バヌアツ国 豊かな前浜プロジェクトフェーズバヌアツ

その他

- ・沖縄県 サンゴ礁保全再生地域モデル事業のモデル地域事業に係る支援業務など





松原 花 (1991年 京都生まれ)

東京大学大学院 農学生命科学研究科 博士課程 2 年
(一社) マリノフォーラム21 専門研究員



イワハダカ

Benthosema pterotum

- ・卒業研究：音響資源量測定
 - ・修士論文：食性分析
 - ・ JICA海外協力隊への憧れ
- 魚類の資源生態を研究



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



JICA海外協力隊



Marino - Forum 21



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

2009-2013

2013-2015

2015-2017

2017-2019

2019-2020

2021~



- ・ JICA海外協力隊員 (ソロモン諸島)
地域主体の水産資源管理促進の活動
- ・ 帰国後、ジュニア専門員として
JICA経済開発部で研修業務に従事
(⇒コロナ禍に突入..)

博士課程の研究



研究題目：「地域主体の水産資源の利用の持続可能性とジェンダー平等の関わりに関する研究」



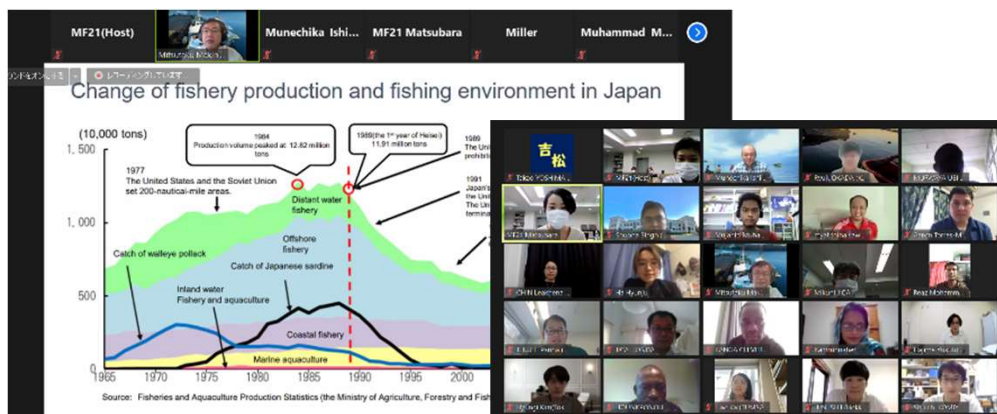
相乗効果？



地域水産業において
水産資源の持続利用への取組みと
ジェンダー平等への取組みは
お互いどのように作用しているか？

国内（例：茨城県、福岡県、千葉県）＋アジア・太平洋地域の事例を
もとに2つの持続可能性の関わりを明らかにする

（一社）マリノフォーラム21での業務



JICA留学プログラム「Agri-Net」
水産分野留学生支援

- ・ オンライン講義開催
- ・ 各大学の受入状況の調査

東南アジア漁業開発センター(SEAFDEC)
日本国内研修の同行

「**来日する途上国人材の支援**」に関わる
業務を中心に担当

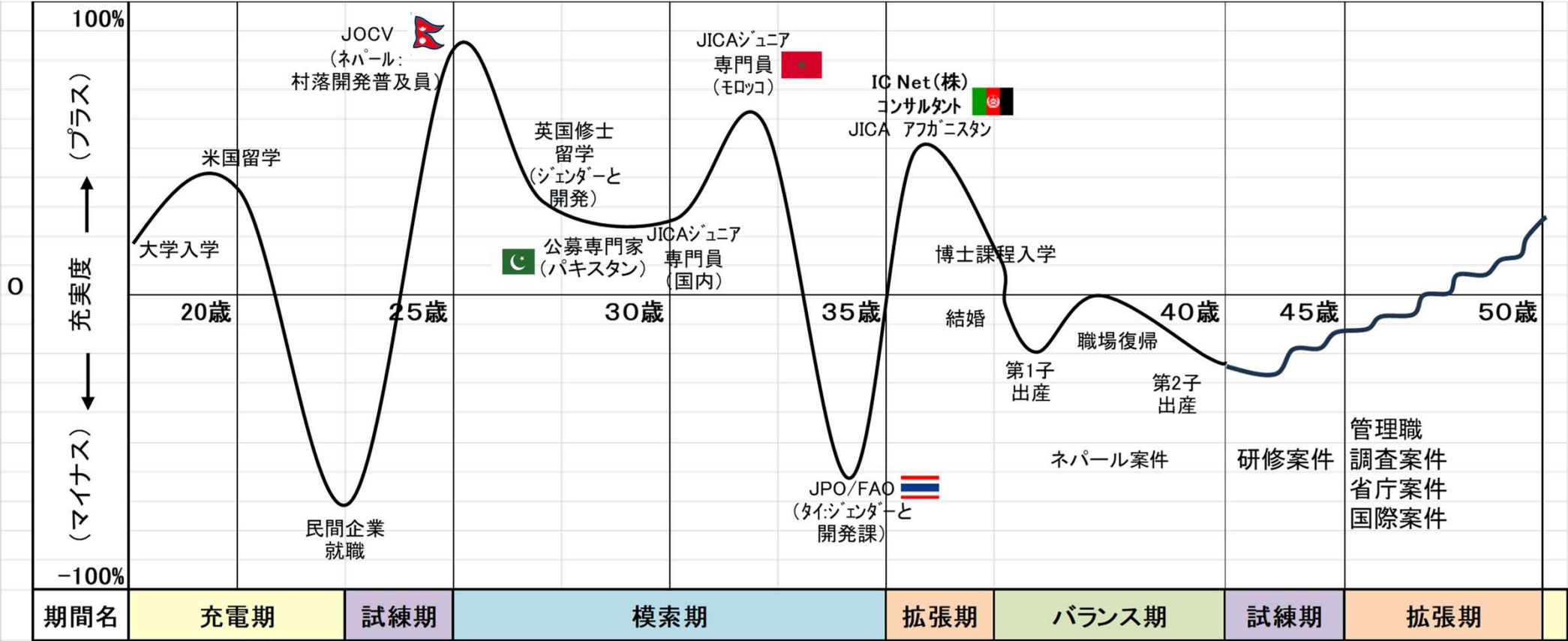
小林 花

アイ・シー・ネット株式会社
開発コンサルタント
(コミュニティ開発とジェンダー)

開発コンサルティング事業部部長



私のキャリア形成



期間名は慶応大学 高橋教授の分類より

- 充電期: 留学など後のキャリアのためになるインプットの期間
- 試練期: うまくいかないことが続く、成果が出ずに空回りする期間
- 模索期: 試行錯誤をする時期
- 拡張期: キャリアの幅を広げる、新しいことにチャレンジする時期
- バランス期: 私生活充実、あるいは私生活関係のウェイトが高く、仕事のウェイトを低めた時期



【JICA技術協力プロジェクト】

- バングラデシュ 小規模園芸農家のための市場志向型農業振興プロジェクト（ジェンダー）
- パキスタン シンド州小規模園芸農家支援プロジェクト(組織強化)

【研修】

- 課題別研修 ジェンダー水産起業支援、ジェンダーと多様性からの災害リスク削減と気候変動
- Project Cycle Management(PCM) 研修

【調査】

- 内閣府 男女共同参画の視点からの防災・復興の取り組みに関する実践的調査研究業務
- 世界銀行 Gender Tagging the Agriculture Project

第2回JICA水産分野における国際協力セミナー（24年10月開催）～パネリスト紹介～



アイ・シー・ネット㈱

西山 和郎 氏

経歴

北海道大学水産学部（学士）、英国で水産経済（修士）卒業後、JICA海外協力隊（チリ/漁業生産）で活動。帰国後は2年間水産商社で勤務後、2009年IC NETに入社。以来、水産を中心に、教育、地域開発等の案件に従事。地域はアフリカを中心に、カリブ、大洋州、東南アジア等。

キーワード

コミュニティ開発、零細漁業開発、ちょっと枠をはみ出たチャレンジ



インテムコンサルティング㈱

佐藤 信 氏

経歴

学習院大学卒業後、民間企業に就職。JICA海外協力隊（カメルーン/村落開発普及員）でカメルーン派遣中に開発コンサルタントのを知る。その後、インテムコンサルティング株式会社に入社。主に仏語圏アフリカ養殖プロジェクト（ベナン、コートジボワール、カメルーン）に従事。このほか、東南アジア、中東の水産案件に参画。

キーワード

開発コンサルタント、留学、海洋教育、水産共同資源管理など



（独）国際協力機構（JICA）

小林 龍太郎 氏

経歴

東京水産大学（現 東京海洋大学）修士課程修了後、JICAに入構。森林・自然環境協力部、農村開発部、北陸支部、フィリピン社会林業案件の専門家、フィリピン事務所、外務省出向、東南アジア・大洋州部（ベトナム担当）、ベトナム事務所、パラオ事務所等を経て、現在は青年海外協力隊事務局に勤務中。

キーワード

JICA職員、東南アジア、大洋州、海外赴任、四児の父など



（独）国際協力機構（JICA）

杉山 俊士

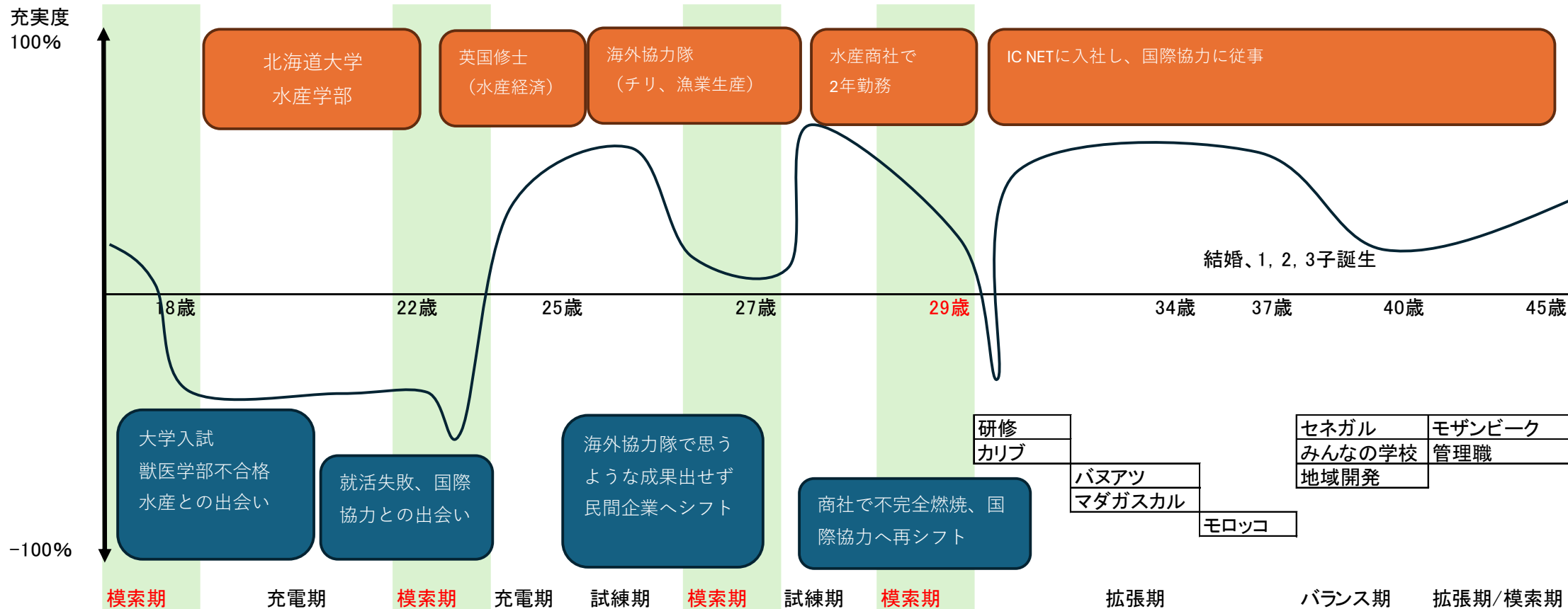
経歴

北大水産学部卒、海技士免許取得JICA海外協力隊（ソロモン諸島/漁具漁法）、英国留学（修士:水産政策）JICAジュニア専門員、JICA専門家、外務省JPO（FAOバンコク）、FAO水産専門官（ローマ本部）。2008年よりJICA国際協力専門員（水産開発）。海外赴任6か国計16年、業務経験90か国以上

キーワード

ジョブ型キャリア、JOCV、JPO、FAO、国際協力専門員

モチベーショングラフ



アイ・シー・ネット（株） 西山 和郎 氏

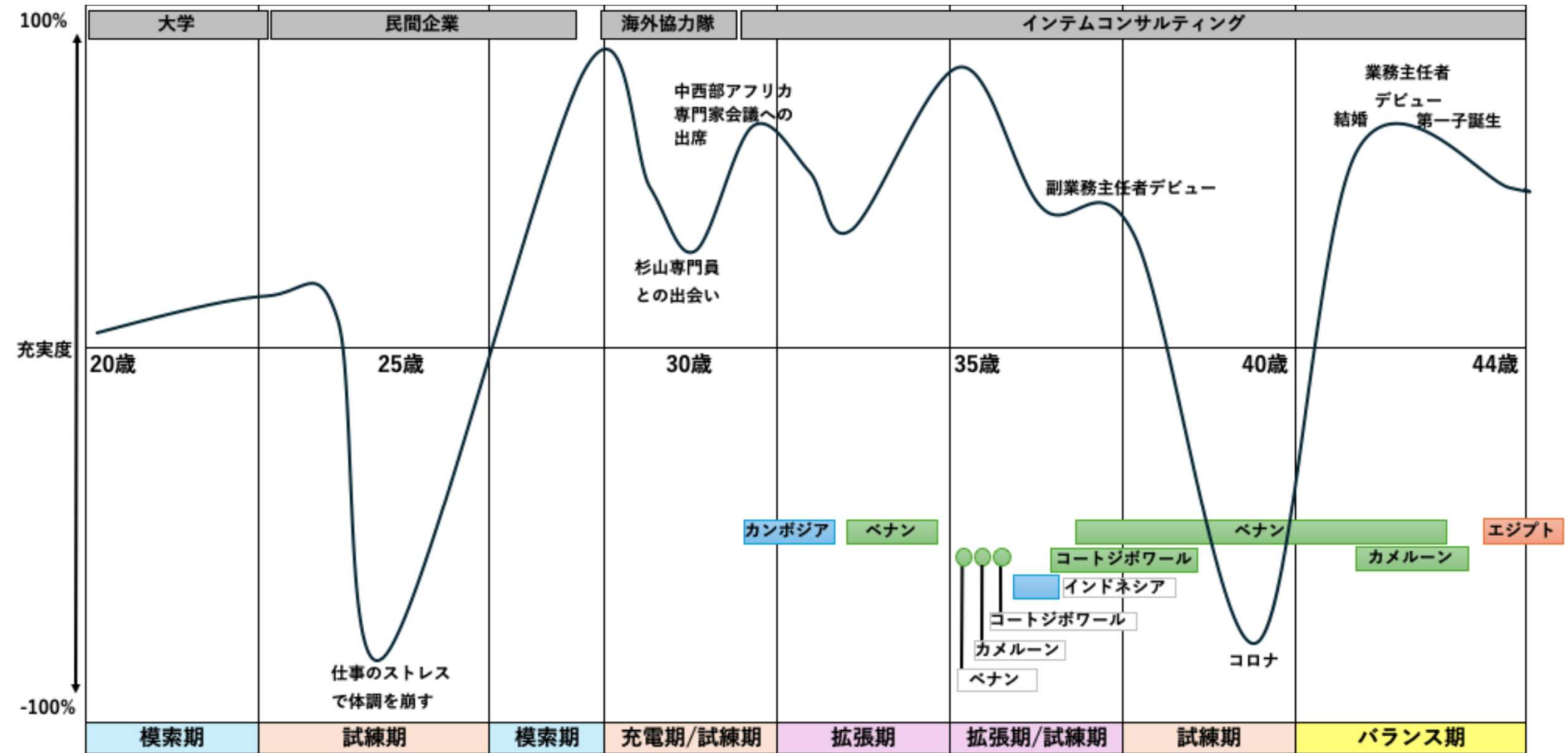
左：バヌアツで初めて漁獲されたソデイカと、それを見て驚く住民



下：正式に承認された住民参加型の資源管理計画のお披露目。



モチベーショングラフ



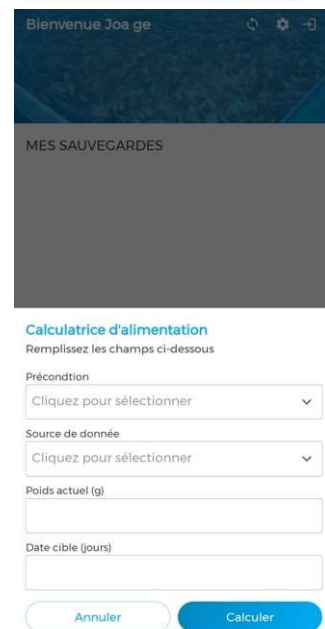


養殖研修での実習風景



研修最終日の修了証授与

養殖関連アプリの開発



内水面養殖普及プロジェクト（ベナン）

インテムコンサルティング（株）佐藤信 氏

カメルーン



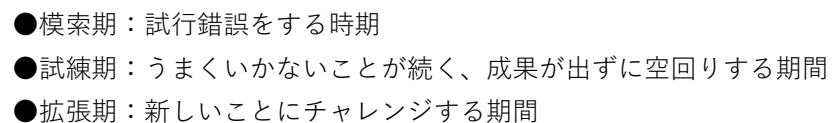
牧畜・漁業・動物産業省
大臣との会議

エジプト



養殖農家へのインタビュー

JICA職員小林龍太郎



私のここ数年の仕事の様子

JICA職員 小林龍太郎



協力隊派遣の要望を聞きに小学校を訪問（日本ではコロナ禍真っ最中、協力隊派遣の再開を準備）@パラオ



日本での研修事業の準備のため、自治体幹部に事業を説明（幹部同士が横に並ぶ典型的な共産党形式の会議）@ベトナム



ウィップス大統領との署名式
（実は直前の会議で揉めて私の顔は引きつっている）@パラオ



女性の日、事務所の部下に囲まれて@ベトナム

